

作物の種類		せいようなし		484	1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	枝条の色	10枝	観察		緑	灰	褐	赤褐						休眠中の1年枝で生育中庸なもの中央部
2	葉身の大きさ	15葉	測定	平方cm (小数第1位を四捨五入)									8月に生育中庸な発育枝5本について第4～6位葉、計15枚の葉身長(L)及び葉幅長(B)を測定し、葉面積の近似値を $\pi LB/4$ で表す	
3	葉身の形	15葉	測定	* (小数第1位を四捨五入)									葉幅長(B)に対する葉身長(L)の比(L/B)×100で表す	
4	葉縁の鋸歯	15葉	観察	全緑	鈍鋸歯	鋭鋸歯	複鋸歯							葉身の中央部の鋸歯で判定、調査葉は1次必須の2に同じ
5	花の大きさ	10花	測定	mm (小数第1位を四捨五入)									正常な3番花10花の開いた時の最大直径から判定	
6	果実の大きさ	10果	測定	g (小数第1位を四捨五入)									成熟した10個の健全果の平均果重	
7	果実の形	10果	観察										果実の縦径の長短と、側面の状態とで表示。1 0極短、3 0短、5 0中、7 0長、9 0極長、1 中央に向って凹、2 果頂部に向って凹、3 中央に向って直、4 果頂部に向って直、5 中央に向って凸、6 果頂部に向って凸	

作物の種類		せいようなし		484		1次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	枝条の刺	10枝	観察	無									有	成木における1年生枝上のとげの有無を観察する
2	成葉の毛茸	15葉	観察	無			少		中		多			8月に生育中庸な発育枝5本について第4～6位葉、計15枚を調査

作物の種類		せいようなし		484		2次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	発芽期	2樹	測定	年月日									頂芽の先が割れ、葉先の青味の現れたものが1樹で3個以上みられた日		
2	満開期	2樹	測定	年月日									頂花芽の70~80%が開花した日、観察による		
3	成熟期	2樹	測定	年月日									品種特有の味を出す果実が最も多く収穫される日		
4	果皮を被う色	10果	観察	無	鮮紅	暗紅								果皮の上に着色した表面色の種類	
5	果面のさびの量	10果	観察		無 ~極少		少		中		多		極多	さびが発生している面積とその密度を総合したもの	
6	胴枯病	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			枝幹部における発生状況により判定する	
7	輪紋病	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			収穫時及び追熟後の果実に発生する病斑の発生率、程度を総合的に判定する	
8	黒星病	2樹	観察		抵抗性		低感受性		中感受性		高感受性			芽及び果実における被害率、程度により総合的に判定する	
9	尻腐れ	2樹	観察	無			少		中		多			生理障害としての尻腐れの発生率、程度により総合的に判定する	
10	葉やけ	2樹	観察	無			少		中		多			成熟期に発生する葉焼け症状の発生率、程度により総合的に判定する	
11	寒害	2樹	観察	無			少		中		多			枝枯れ、芽の障害等の発生の多少で判定	
12	霜害	2樹	観察	無			少		中		多			花芽の障害、幼果の障害等を総合して判定する	

作物の種類		せいようなし		484		2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	樹姿	2樹	観察		極直立性		直立性		中間		開張性		下垂性	樹全体の横から見た形状、総樹高、総開張の比率の大小と枝の伸長、方向習性などの観察による	
2	樹勢	2樹	観察				弱		中		強			環境の影響を受け易いので遺伝的と判断される明白なもののみ記入。新梢伸長の強弱（新梢の長さ、太さなど）を観察	
3	短果枝の着生	2樹	観察				少		中		多			2年枝上の短果枝の着生、前年枝（2年枝）に着生する短果枝の多少を樹全体の観察によって判定する	
4	腋花芽	10枝	観察				少		中		多			1年枝（当年枝）腋芽の花芽分化率又は翌春の開花時に腋芽が花芽であったか否かによって判定する	
5	マルメロとの接木親和性	2樹	観察		極不良		不良		中		良		極良	接ぎ目コブの発生状態、木の生育、接木部の剥離の難易から総合的に判断	
6	花粉の有無	10花	観察	無									有	自然開花時の花の観察による	
7	早期結実性	2樹	測定	年（小数第2位を四捨五入）									結実開始樹齢		
8	果実外観	10果	観察		極不良		不良		普通		良好		優秀	果実の形状、果表面の状態その他外観の総合的評価	
9	果皮の地色	10果	観察				黄		緑黄		緑			果皮表面の素地の色、観察による（収穫時の地色）	

作物の種類		せいようなし		484		3次必須項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	果実の硬さ（収穫適期）	10果	測定	lb（小数第2位を四捨五入）									マグネステラー式硬度計（5/16インチプランジャー使用）により、陽光面、非陽光面の2カ所を1.0cm程度切り取った後、測定する		
2	果実の硬さ（追熟後）	5果	測定	lb（小数第2位を四捨五入）									追熟後の硬度（3次必須の1に同じ）		
3	果汁の糖度	10果	測定	%（小数第2位を四捨五入）									追熟後10果より搾汁（各果4方向より果心に達する半円形の果肉を取り搾汁）ろ過後屈折糖度計で測定		
4	果汁の酸度	10果	測定	g/100ml（小数第4位を四捨五入）									果汁サンプルは糖度測定と同じ5mlをとり50mlにフィルアップし、1/10N NaOHで滴定してリンゴ酸（M.A.）に換算する M.A. g/100ml=0.134fx (f:factor .x:滴定量)		
5	肉質	5果	官能検査		粒状	砂状	粗	密	粉状	柔	溶質	バター状	ゴム状	追熟後の果実についての官能検査	
6	果汁の多少	5果	官能検査				少		中		多			追熟後の果実をそしゃくした時に口中で感知する果汁の多少	
7	渋味	5果	官能検査	無			少		中		多			追熟後の果実をそしゃくした時に口中で感知する渋味	
8	香気	5果	官能検査	無			少		中		多			追熟後の果実をそしゃくした時に口中で感知する香気	
9	追熟日数	5果	測定	日（小数第1位を四捨五入）									常温（15～20℃）における追熟日数		
10	収量	2樹	測定	kg/樹（小数第2位を四捨五入）									1樹当たり収量（盛果期）		

作物の種類		せいようなし		484		3次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	果実品質	5果	官能検査		極不良		不良		普通		良好		優秀	追熟後の最良の熟度における総合評価
2	押し傷の付き易さ	5果	観察				易		中		難			追熟後の果実を指で押した場合の押し傷の付き易さ
3	日持ち性	20果	観察	日（小数第1位を四捨五入）									追熟後の常温（15～20℃）における鮮度保持期間	